

実施日時：2018年11月21日(水)10時00分～11時50分頃まで

走行区間：宗谷線(稚内駅10時27分発→幌延駅11時34分着／約60km)

実験目的：ダミーの荷物を使用し、両駅における動線、列車への積み込み作業時間、列車内の積載状況等を確認



稚内駅



列車内



幌延駅



荷物ボックスをホームへ直接持ち込み



後方出入口側の横向き座席使用



列車から降ろし、昇降用機材で跨線橋を移動、ホームからトラックへ積み込み



今後の予定等

- ◆ 実証実験の結果を検証するとともに、今後2回程度の実証を経て、本格運行へ
- ◆ タクシーへの貨客混載リレーについて検討中

鉄道事業者と「道の駅」の連携による貨客混載事業

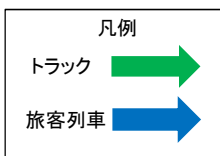
実施事業者

WILLER TRAINS(株) / (株) 丹後王国

事業内容

WILLER TRAINS(株)の旅客列車を活用し、(株)丹後王国で販売する農産物を輸送する貨客混載を実施する。

実施前



久美浜地区
登録農家



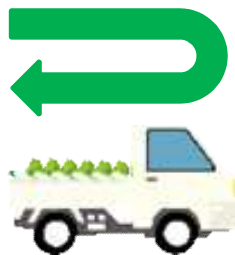
50km、2時間、計180回/年

丹後王国
(道の駅)

実施後

15km、0.2時間
計180回/年

久美浜地区
登録農家



久美浜
駅

曜日ごとに出荷を割り当てる



22km、0.5時間、計180回/年

WILLER TRAINSの旅客列車を活用

峰山
駅

12km、0.3時間、
180回/年



丹後王国
(道の駅)

丹後王国が集荷

特徴

- 地方鉄道(利用率の低い路線)の輸送力を有効活用
- 出荷時間短縮による、農業生産の向上

効果

- CO₂排出削減量 約56kg-CO₂/運行1回(76%削減)
- 地方鉄道の経営改善(安定的な収入の確保)
- 農家の運転時間省力化 1.4時間/運行1回(72%削減)